

東方青龍

とうほうせいりゅう(Green Dragon)

伊勢崎市立あずま中学校

学校通信 NO.194

令和2年6月10日(水)



職員玄関のツバメ
(5月末に無事巣立ちました)

本格的な学校の再開に向けて

6月15日(月)からの本格的な学校再開に向けて、8日(月)から全校一斉の登校が始まりました。先週行っていた学年毎の分散登校から一段階進み、午前中4時間の授業を全校生徒が受けることになります。手指消毒や換気の徹底、検温の確認、間隔の保持など、これまで行ってきたウィルス感染予防対策は確実に継続する他、生徒が密集しそうな場所に間隔を明示する印をつけたり、下校時は生徒の分散を図って使用する校門を分けたりして、3密を避ける工夫を行っています。給食も当面の間は全員前を向いての食事としています。これまでと異なる「新しい日常」が学校生活の中にも取り入れられていきます。少しずつでも、体と心を慣らし、学習や運動など様々な活動に取り組んでいきましょう。



授業は机の間をあけて



授業中の意見交換(左)も、給食(右)も、前を向いたまま



足下の目印に沿って、並んで待ちます



清掃時もマスク着用

6月8日(月)に行った、放送による全校集会に於ける校長先生のお話を掲載します。

全校生徒の皆さん、おはようございます。

先週は分散登校でしたが、今日は全校生徒の皆さんが一斉登校できた、初日であります。まずは、これまでの当たり前であった日常が少しずつ戻りつつあることを、大変うれしく思います。

さて、皆さんは、5月末まで、およそ3ヶ月間、家庭で過ごすことを余儀なくされてきましたが、よく我慢し、しのいできてくれました。家庭での学習にも皆さんはしっかりと取り組んでくれたことと思います。こんなに長期間に及ぶ休校期間は、今までだれも経験したことがなかったことです。

この休校期間が教えてくれたことは、いったい何だったのでしょうか。おそらく、それは、「日常の

当たり前であると考えていたことが、本当は当たり前ではなかった」ということではないでしょうか。友達と一緒に学校で生活ができることや、先生方から勉強を教えてもらえることなど、日常の当たり前のことが、本当はすごく貴重で、ありがたいとだったということに、改めて気づかせてもらったのではないのでしょうか。これからは、日常の当たり前のことに感謝して、日常の当たり前のことを、ありがたく受け止めていくことができるようになったのではないのでしょうか。「日常のありふれた出来事にも感謝して生きる」これはとても素晴らしいことです。

さて、いよいよ今週からは午前の4時間授業が開始されます。そして、来週からは、本格的に一日6時間授業が始まります。学校生活に少しずつ慣れていきましょう。

今日は、皆さんがこれから安心・安全な学校生活を送るために、三点、お願いをします。

一点目は、感染症対策をしっかりと行い、気を抜かないで生活してほしい、ということです。

○基本的な感染症対策の徹底（毎日の検温、手洗い、うがい、マスクの着用）

○日常の健康管理（十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事）

○人の集まる場所等への外出を避ける。今後も感染症予防を意識した生活を送りましょう。

なお、これからの時期は熱中症予防も同時にしていく必要があります。暑くて、呼吸しづらい時などには、マスクを外すなど、臨機応変に対応していきましょう。

二点目は、学習習慣をきちんと整えていってほしいということです。

○授業には集中して取り組む。

○家庭では、学校から出された課題にしっかりと取り組む。

○この他、自主学習にも積極的に取り組んでいってほしいと思います。

なお、この休校期間の学習の内容は、やや精選をしながら、授業で勉強していきます。勉強していて、分からないところや疑問点は、先生に気軽に質問をしていてください。

三点目は、心の健康を保っていってほしいということです。

○悩みや不安は一人で抱え込まないでください。

○学校では先生方がしっかりと受け止めてくれます。

○逆に困っている友達を見つけたら進んで助けてあげましょう。

以上、大きく3つのことをお願いしました。あずま中学校の生徒の皆さんには、これからの日常に感謝をしながら、一日一日を大切に、明るく元気に過ごしてもらいたいと思います。そして、友達や先生方と一緒に過ごす時間の素晴らしさや楽しさを実感してほしいと思います。

令和2年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟総合体育大会について

放送による全校集会で、須田先生から今年の市総体についてのお話がありましたが、6月8日付けで、正式な形として、伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟会長より、今年度の総合体育大会（市総体）について以下の通知がありました。

『新型コロナウイルスの新たな感染拡大も心配される中で、会場への車の移動、会場が「三密」を避けることが困難であるとともに、部活動再開からの期間が短い中での大会開催は、怪我や熱中症を含め、選手、顧問、競技役員、大会関係者、保護者の健康、安全が確保できないと考えております。』

このような状況の中、令和2年度の伊勢崎市佐波郡中学校総合体育大会の開催について、本連盟として、伊勢崎市中学校長会、玉村町校長会、伊勢崎市教育委員会、玉村町教育委員会で検討を重ねた結果、断腸の思いで中止せざるを得ないとの結論に至りました。』

3年生にとって、最後の大会となる総体でしたが、中止という残念なお知らせとなってしまいました。しかし、3年生の部活動引退に向けた対応策も、今後各競技部を中心に協議していく予定であります。

本校としても、3年生の思いを大切にしながら検討してまいります。決定しましたら各顧問からお知らせいたします。3年生の皆さんは、自分自身の成長のために、今できる最高の形で、3年間の部活動を締めくくって欲しいと思います。

